むすび

149号　2016年 新春号

一般社団法人高知県労働者福祉協議会機関紙
高知市本町4丁目1-32　こうち勤労センター内
TEL 824-3583　FAX 875-4887
E-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.roufuku.com
発行責任者　折田　晃一

だるま朝日と船　　写真提供：牧村光彰氏（労安センター）

◎主な内容

＊　年頭のご挨拶
　中央労福協 …… 2P
　高知県労福協 …… 3P
　連合高知 …… 4P
　四国労働金庫 …… 5P
　全労済 …… 6P
　生活協同組合連合会 …… 7P
　退職者連合・勤労者福祉サービスセンター …… 8P
＊　クンペル高知 …… 9・10P
＊　高知県 …… 11P
＊　無料確定申告相談会のお知らせ・高知県労福協研修会のご案内 …… 12P

労働者福祉中央協議会
会長　神津　里季生

2016年　年頭挨拶

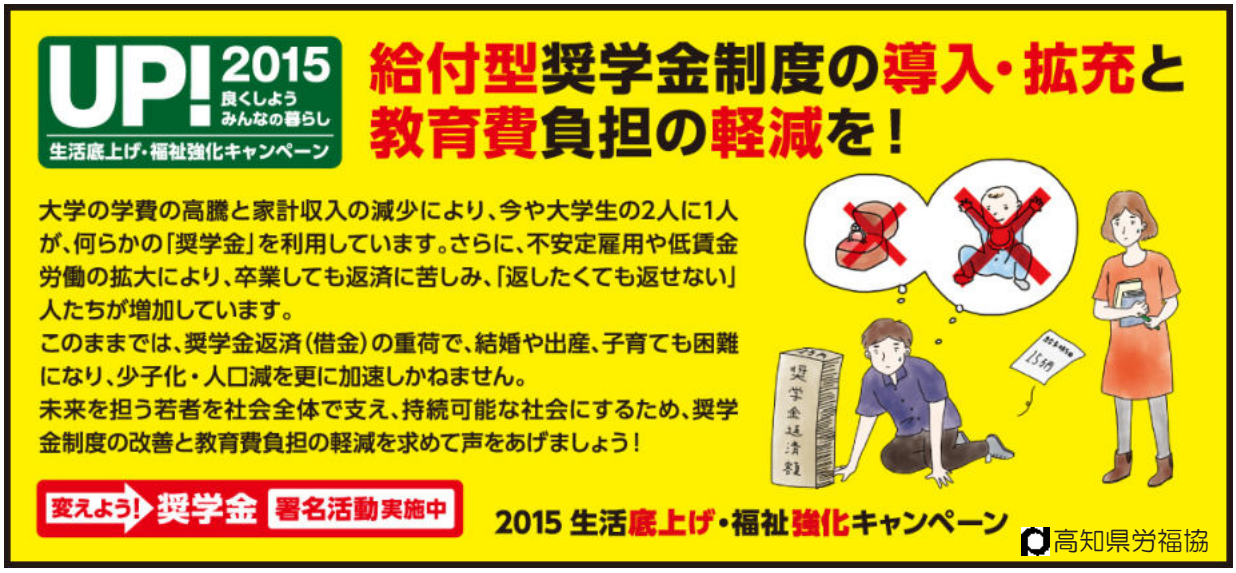
新年明けましておめでとうございます。

いま日本は、貧困や格差が拡大し、社会の持続性が問われています。雇用の劣化は加速する一方で、中間層もやせ細り、若者・壮年・高齢者に到るまで、現在や将来の生活に不安を抱えています。とりわけ、次の時代を担う若者の多くが奨学金を借りざるを得ず、社会人としての出発点から数百万円の借金を背負って苦しんでいる事態をこのまま放置するわけにはいきません。社会全体で若者を支えていくため、給付型奨学金制度の導入・拡充や柔軟な返済制度への改善、教育費負担の軽減の実現に向けて、広範な世論のうねりをつくっていくことが必要です。各職場・地域において現在展開している署名活動に対して、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

昨年４月に施行された生活困窮者自立支援制度については、地域づくりとも連動させつつ、支援の内実をつくりあげていくことが、これからの課題となっています。働きがいのある人間らしい仕事ができる職場に変えていくことや、より包摂的な社会へと地域を変えていくという位置づけのもと、私たちも積極的に関わりながら、みんなで地域に根付いた制度へと育てていくことが必要です。また、地域におけるライフサポート活動をさらに深化させ、様々な団体とのネットワークを広げ、働く人、地域の人たちの拠り所としての機能を強化していきましょう。

中央労福協は、持続可能な社会をめざし、再分配機能の強化や社会的セーフティネットの充実など「公助」機能の強化を求める運動とあわせて、自ら「共助」機能の発揮を強める運動を、車の両輪として進めてまいります。これまでの労福協運動の原点をしっかりと継承・発展させ、労働組合と労働者自主福祉団体、協同組合との連携を強固なものにし、職場に、地域に、共助の輪を広げていくことが求められています。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、ともに前進しましょう！



2016年 年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

日ごろの労福協運動に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

現在の日本の政策動向をみると、格差・貧困が更に拡大し、富める者、強い者たちを優遇する政策に後退しようとしています。ただ、一方で生活困窮者支援や地域再生など地道な活動は地域で根を張り、芽を出すのを待っており、自立・共助・公助扶助のセーフティネットを維持するには、支え合いによる連帯・協同の社会づくりが必要とされています。

今まさに「一人は万人のために、万人は一人のために」の労福協の原点の下に、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」実現に向かって、労働運動、消費者運動、市民運動を結びつける活動が求められています。

世の中が大きく変革する中で、労福協に求められる役割・機能と運動スタイルは「福祉はひとつ」を掲げ、労働運動・協同事業団体・NPO・市民運動等を結びつける「かすがい役」として、これからも皆様方と力を合わせ労福協運動の前進に取り組みます。

引き続き、労福協運動への参画とご支援をお願い申し上げます。

（一社）高知県労働者福祉協議会
会長　折 田 晃 一

高知県労働者福祉協議会役員

会　長
折　田　晃　一
（連合高知）

副会長
間　嶋　祐　一
（四国労働金庫）

副会長
山　﨑　秀　一
（全労済高知県本部）

理　事
石　川　俊　二
（高知県勤労者旅行会）

理　事
岩　本　富士雄
（高知勤労者福祉サービスセンター）

理　事
北　村　良　平
（高知県退職者連合）

理　事
橋　川　慶　一
（生活協同組合連合会）

理　事
浜　田　嘉　彦
（高知県労働安全衛生センター）

理　事
松　岡　和　男
（高知県労福協理事会）

理　事
和　田　正　清
（高知県年金福祉協会）

監　事
岡　田　浩　幸
（連合高知）

監　事
斎　藤　泰　弘
（ＵＡゼンセン）

監　事
中　野　勇　人
（高知県平和運動センター）

2016 連合高知新年あいさつ

日頃より連合高知の活動に対しましてご理解・ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

2016 年は、この間進められてきた安倍政権の政策体系との全面的な対決が求められる年になると考えています。「ヒト・モノ・カネ」を総動員して「企業が世界で一番ビジネスがしやすい国」づくりをめざす経済社会政策は、働く者の犠牲の上に経済成長をはかるものに他なりません。その結果、大企業や富裕層に富が集中するとともに、多くの人たちの貧困が増大し、格差拡大に一層拍車がかかり、社会の不安定化が進行しています。加えて、昨年の第 189 通常国会では「労働者派遣法改悪法案」と一連の「安全保障関連法案」が強行成立させられ、国のあり方の基本原則である立憲主義と民主主義までが蹂躙されるまでに至っています。

今こそ私たちは、働く者・生活者の一人ひとりの怒りを結集して、社会を変える大きな運動をつくりあげていかなければなりません。そのために、連合として、働く者の雇用と生活の立て直しを課題のど真ん中に据え、生活の底上げ・底支え・格差是正をめざす「総合的な労働条件改善」、良質な雇用の確保・創出・社会保障制度の安定性の確保をめざす「連合政策の実現」、1000 万連合実現などをめざす「組織拡大と組織強化」などに精一杯取り組んでいきたいと決意しているところです。これらの取り組みを夏に実施される第 24 回参議院選挙闘争につなげ、その勝利により社会と政治を変える大きな一歩を踏み出していきたいと願っています。

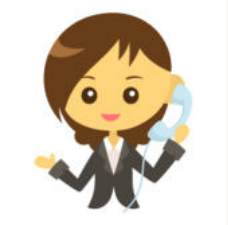
皆様方のこれまで以上のご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

連合高知
会長　折田　晃一

困ったり悩んだりしていませんか？
仕事中のケガや病気のことでお困りの方は、
お気軽にご相談ください。（相談無料）

0120－631－202

受付時間：月～金（９時～１５時）
NPO 法人　高知県労働安全衛生センター



謹んで新春のお喜びを申し上げます

皆様におかれましては、心新たに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、各会員様を始め、勤労者の皆様、また各種お取引をいただいているお客様には，当金庫をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございました。心より御礼申し上げます。

さて、当金庫では、２０１５年度より「第６次中期経営計画」を推進しており、**「みらい創造革新」、「ろうきん・お役立ち宣言！（ありがとう祭）」**をダブルテーマに掲げ、事業を進めております。

「みらい創造革新」は、「経営戦略」と「人事戦略」を一体的にイノベーションし、組織力および人材力を徹底強化するとともに、「ＣＲＭ戦略」により、各会員様および関係団体との強固な絆づくりと連携強化を、また「営業戦略」によって、勤労者福祉金融機関の具現化を図るため、これらを中心とする、全重点戦略の実現を企図して掲げたものでございます。

「ろうきんお役立ち宣言！（ありがとう祭）」は、「ＣＲＭ戦略」、「営業戦略」を中心に実現する計画です。これは〈ろうきん〉の原点である、会員組合員様やお客様一人ひとりに対して“フェイスｔｏフェイス”の個別提案活動により、将来設計に視点を置いたライフプランニング、また、各種セミナー等を通じて、お客様から「ありがとう」と言っていただける〈ろうきん〉を目指すものです。

これらの取組により、勤労者の福祉金融機関として、会員組合員様やお客様の利便性と満足度の向上のため、役職員一丸となって努力していく覚悟であります。

本年も各会員様・地域のお客様のご協力を得ながら、より一層親しまれ、安心してご利用いただける生活応援バンクとして努力してまいりますので、今後とも、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

２０１６年元旦

四国労働金庫

高知地区選出役員他一同

常務理事兼 高知営業本部長　**間嶋　祐一**

高知支店長兼　高知営業副本部長　**小松　三男**

非常勤理事　**肥本　博昭**　**松﨑　忠弘**　**石川　俊二**　**石川　眞人**

非常勤監事　**井上　浩司**

2016年新年号挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は、全労済高知県本部の運動に格段のご協力をいただきありがとうございます。

あわただしい日々を離れ、少しはリフレッシュできましたでしょうか。

さて、全労済をとりまく経営環境は厳しさを増しており、高知県本部においても、昨年度は、契約件数・口数ともに期首割れとなりました。日本社会全体の人口減少、労働組合の組織率低下によるところ大なのですが、役職員上げての取り組みにより、何とか事業目標は達成することができ、とりわけ、店舗における契約件数は、昨年に引き続き全国一位を記録することができました。

毎年のように台風等の被害が続いており、昨夏も連続する台風被害がありました。幸い、本県における被害は大きなものとはなりませんでしたが、台風１５号による九州・山口における被害は甚大なものとなり、高知県本部からも、九州地方に調査要員として職員派遣を行いました。１０月末には、ほぼ調査を完了し、約３７億円の共済金をお支払いすることができました。組合員の皆様がお困りになったときに、迅速かつ確実にお役に立てる、これが、全労済の役割なのだということを改めて実感しています。

今年度の大きな課題は、２０１４～１７年度中期経営政策「Z-work ６０」に基づく事業・組織・意識の改革です。厳しい時代を乗り越えるために「待ったなし」の改革であり、皆様に信頼される共済制度の確立、事業推進に重点をおく組織の確立、より身近に感じていただける意識の改革を中心に取り組みを進めています。とりわけ、組織改革は「県本部組織の強化」によって、今まで以上に組合員の皆様との接点を増やすことを目標に２０１７年度からの改革を目指しています。

全労済は、組合員・協力団体の皆様が、「みずから作った組織＝生協」です。組合員の皆様が作った生協の保険制度が、当然に組合員の皆さんのメイン共済になる。そのためには、より皆さんのニーズにあった保険制度を構築し、皆さんに寄り添って相談を受けられる組織であらねばなりません。その原点に常に立ち返り、皆様方とともに歩む一年としたいと思います。

今年も、よろしくお願いいたします。

全労済高知県本部
本部長　山﨑　秀一

明けましておめでとうございます

昨年は国民の多数の反対にもかかわらず「戦争法案」が強行採決され、日本がアメリカと一緒になり「いつでも」「どこでも」戦争ができる危険な状況になりました。日本の生協の父である賀川豊彦は、悲痛な戦争体験から「平和なくして生協運動はない」との思いを強くし、平和実現の取り組みを生協運動の重要な柱と位置づけました。それを受け生活協同組合は、戦争反対、核廃絶の運動を進めてきました。戦争法が成立した今、それを廃止し、日本に立憲主義と民主主義を取り戻す新たな取り組みをすすめる決意をしているところです。

また昨年はＴＰＰが大筋合意されました。これは、国や政府が農業を切り捨て、保険や医療に競争を導入し、国民生活を圧迫するものです。生協・協同組合は資本が「利益にならない」としてかえりみない“もの”国や政府が経済政策の変更や財政難を理由に見捨てた“もの”、そのような価値に光をあてすくい上げてその価値を実現する使命があります。ＴＰＰに対峙し共同の力で国民生活を守る協同組合運動が求められています。労福協との協力共同を強め私たち協同組合に課せられた役割を確実にはたしていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

高知県生活協同組合連合会
会長　井垣　政利

●高知県生協連の活動●

■コープぼうさい塾の開催

地域の方たちと一緒に、大規模災害への対応に関する課題認識や取り組み状況について情報交流と防災意識向上を図るため、「コープぼうさい塾」を実施しています。

第１回は高知大学と共催し朝倉地区で、第２回の昨年度は潮江地区でMAP シミュレーションや非常食の調理・試食、身近なものでつくるスリッパやトイレの作成、毛布による救助方法などを学習しました。

好評を得て第３回を今年度３月に南国市で開催予定です。

■消費者問題についてのとりくみ

安心して暮らせる社会を目指し、消費者啓発講演会を開催しています。過去には科学ライター松永和紀氏による「安全な食品をどう選ぶ？」や高知県との共催で精神科医名越康文氏による「だます心理、だまされる心理」などを開催しました。今年度は２月に みやざき中央新聞編集長 水谷もりひと氏にご講演いただく予定です。

■地域との連携の強化

それぞれの生協が得意分野で協力し、地域に何か役立つことができないかと「地域連携会議」を開いています。地域で行われている食事会への参加や、福祉施設への視察訪問などを行い、地域包括ケアシステム構築への準備をすすめています。

新春お慶び申し上げます

新年おめでとうございます。旧年中に賜りましたご支援・ご協力に、衷心より厚く御礼申し上げます。

高知県労働者福祉協議会（労福協）は、県下の各労働組合が寄合い自主福祉事業として設立され、労働者の福利厚生事業等を中心に諸活動を行いながら、充実・発展して参りました。

とりわけ近年、事業活動のより活性化を図る目的で、「一般社団法人」の認可を得た事に大きな意義を感じています。

私たち「退職者連合」は、退職後の第二の人生を「健康で安心して暮らせる社会」の実現と、現役当時に培った知識・経験を活かして、地域社会に貢献する活動を主目的に行っています。

具体的には、西部地協が取り組んでいる「ライフサポートセンター」事業に退職者連合も参画して、主体的役割を担って活動しています。西部地協の活動に習って、東部地協も「ライフサポートセンター」の設立の機運がたかまり、先般「準備委員会」が発足致しました。

安倍自・公政権は、社会保障費を圧縮し、軍備増強を図ることは、間違いありません。

この様な政治情勢を踏まえて、働く者自らの福祉運動の重要性を認識し、現・退一致の運動で、「労働者福祉事業」の益々の強化・発展を心から祈念申し上げ、新春のご挨拶と致します。

高知県退職者連合
会　長　北村　良平

明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。

昨年はいろいろとお世話になりました。皆様方に支えられ、会員数も増加の傾向にあります。今後も、更なる会員拡大を目指し、会員の皆様へのサービスの向上に努めて参ります。

クンペル高知は、中小企業の福利厚生事業を行っており、中小企業で働く勤労者の福利厚生の充実と生活の安定や勤労意欲の向上を目的とした会員制の互助組織であります。“人口減少・少子高齢化が進み、中小企業が多い高知県”にとっては、特に大事な役割を担っていることになります。

今後も、クンペル高知の知名度を上げていくように取り組んでまいります。事務局スタッフは更に頑張ってまいりますが、皆様方の今まで以上のご理解とご協力を賜りながら、この重責を担って参りたいと存じます。

皆様方にとって良い年でありますことを祈念しまして、念頭のご挨拶とさせて頂きます。

公益財団法人
高知勤労者福祉サービスセンター
理事長　折田　晃一

あなたの生活、応援します。

1 在職中の生活安定をめざして

各種共済金の給付は、会員本人の結婚や出産、またお子さんの小中学校へのご入学の際や、会員本人の成人や還暦の祝い金、傷病や住宅災害の見舞金、家族や本人の死亡に対する死亡弔慰金などがあります。

2 自己啓発と余暇活動の充実のために

コンサートや観劇の他夏季大学の受講、映画や食事のチケットなどの割引や助成を受けられます。

3 健康の維持増進を図るために

生活習慣病予防検診や人間ドックの受診助成、また健康啓発講座などの受講やトレーニング施設、プールなどの利用の際にも助成を受けられます。

4 老後の生活安定をめざして

中小企業退職金共済制度の新規受付を行なっています。

5 財産形成のために

居住用住宅資金の貸し付け制度が低利で利用できます。

＼毎日イキイキ／

会員募集中

／もっと豊かに＼

お気軽にお問合せ下さい

ケンペル高知 KUMPEL

公益財団法人
高知勤労者福祉サービスセンター

〒780-0802 高知市丸池町1番1-14号　高知市勤労者交流館1階

TEL 088-885-9739
FAX 088-880-0027

http://kumpel-kochi.com/

クンペル高知
KUMPEL
クンペルとはドイツ語で友人や働く仲間という意味で、(公財)高知勤労者福祉サービスセンターの愛称です。

月々500で始まる安心と充実

自己啓発
余暇活動

健康
維持・増進

在職中の
生活安定

老後の
生活の安定

財産形成
支援

この町で働く
皆さんを
応援します。

会員募集中

会員制の互助組織
「クンペル高知」

◆加入対象

事業所会員は、高知市と南国市にある従業員300人以下の事業所で、事業所単位の加入とし、事業主と従業員が会員として利用できます。個人会員は、高知市、南国市に居住し、事業所会員として加入されていない中小企業に勤務する勤労者が対象です。

◆会員はひとりにつき月額500円

事業主は会員となった月からの会費を事業所でまとめて納入となります。加入の際、入会金がひとりにつき300円必要です（事業所会員の場合は、入会金の全額と、会費の半額以上を事業主が負担することが原則です）。

四国労働金庫、四国銀行、高知銀行、高知信用金庫、高知県信用農業協同組合連合会（農協）の各本支店のご指定口座より、年1回、2回、4回のうち希望回数で、引き落としさせていただきます。

※個人会員の場合は年1回または年2回の引き落としとなります。

公益財団法人　高知勤労者福祉サービスセンター

高知県作成の「高知の健康図鑑」の第3回目を掲載いたします。前回まで、高知県は生活習慣病による働きざかりの死亡が多いこと、生活習慣病のリスクは高血圧であることなどについて掲載してきました。今回は、高血圧を予防する方法についてまとめました。

高知の健康図鑑 第3回

高血圧対策について

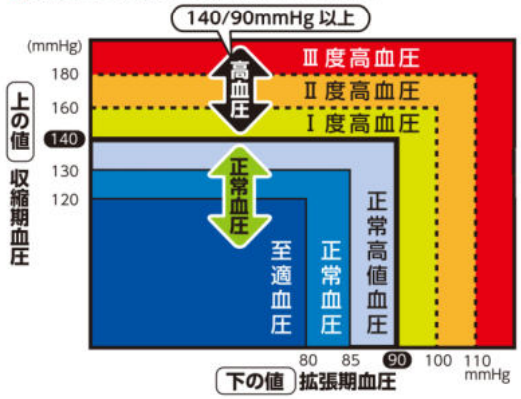
今すぐ実践！高血圧対策！Check&Do

Check! 自分の血圧を知っていますか？

家庭血圧を測りましょう！

家庭血圧では135/85mmHg以上が高血圧の目安です。

■診察室血圧の基準値（「高血圧治療ガイドライン2014」より作図）



高血圧を放置すると、脳卒中や心疾患などの命に関わる病気になる危険性が高まります。家庭で血圧を定期的に測り、身体のサインを見逃さないようにしましょう。

Do! 血圧を上げない生活習慣

高血圧は「生活習慣病」です。予防や改善のためには生活習慣の改善が大切です。食生活の乱れや運動不足に気をつけましょう。

野菜や果物には、塩分を排出する効果のあるカリウムが豊富に含まれています。積極的に食べておいしく健康になりましょう。

1月31日は

愛菜の日

野菜足りていますか？

「野菜は１日350g以上」

園芸の盛んな高知には
おいしい野菜がいっぱい！
低カロリーで食物繊維、ビタミン、ミネラルが豊富な野菜をたくさん食べて、健康を維持しましょう。
便秘ぎみの方、太りぎみの方、風邪をひきやすい方は特に、野菜をたくさん食べましょう！

高知県健康政策部健康長寿政策課　よさこい健康プラン21推進室　TEL088-823-9675

第3期高知県健康増進計画 よさこい健康プラン21

無料確定申告相談会のお知らせ

毎年好評を得て開催いたしております確定申告相談会を今年度も高知県退職者連合、連合高知、四国労働金庫と協力し、森本倫光税理事務所のご指導を得ながら右記要領で開催いたします。

年々参加者が増えている関係で全会場とも**予約制と定員**を設けさせていただきますので、ご了承ください。（※なお譲渡所得と事業所得についての申告は、お取扱いしておりません。）

記

1. 開催日時（各会場とも午前9時30分から午後4時まで）

須崎地区　2016年2月1日（月）
会　場：四国労働金庫須崎支店2階【定員30名】

安芸地区　2016年2月2日（火）
会　場：四国労働金庫安芸支店2階【定員50名】

高知地区　2016年2月3日（水）～2月4日（木）
会　場：高知会館　飛鳥【定員60名（両日とも）】

南国地区　2016年2月5日（金）
会　場：四国労働金庫南国支店2階【定員30名】

2. 申込先　いずれの地区も高知県労福協へ
ＴＥＬ 088-824-3583 又は 088-824-5533

3. 受付期間　2016年1月12日（火）～1月19日（火）
午前9時～午後5時まで

・受付開始直後は電話が集中し、話し中でご迷惑をおかけする場合があります
・受付期間中でも定員になり次第、予告なく受付を終了させていただきます

2015年度高知県労福協研修会

「持続可能な社会のために世代を超えて若者支援・奨学金問題改善に取り組もう」

～労働運動の社会的役割を発揮しよう～

参加費無料
定員120名程度

講師：中央労福協　山本幸司参与

● 日時　2016年1月23日（土）午後1時半（受付1時より）～午後3時半終了予定

● 場所　高知会館　高知市本町5丁目6-24